

あしきた町議会だより

うたせ

第17号

平成21年
5月13日発行

発行/熊本県芦北町議会 編集/議会広報特別委員会 TEL(0966)82-2511 FAX(0966)82-2894



芦北インター開通記念
ウォーキング大会(4月26日)

●平成21年度当初予算	P2~P3
●町長の施政方針(要約)	P4~P5
●平成20年度補正予算(一般会計)	P6
●第1回臨時議会	P7
●総務常任委員長報告	P8~P9
●建設経済常任委員長報告	P10~P11
●文教厚生常任委員長報告	P12~P13
●一般質問	P14~P16
●条例改正	P17
●議会のうごき	P18

各会計の予算額

一般会計	94億4,600万円
国民健康保険	32億1,890万円
老人保健	700万円
介護保険	18億 70万円
簡易水道	7,660万円
農業集落排水	2億9,870万円
生活排水処理	6,110万円
町有温泉	1億 580万円
奨学資金貸付	2,480万円
後期高齢者医療	2億4,350万円
公営企業（水道）	3億2,287万円

平成21年度
156億5, 〆
を

当初予算
577万 〆
原案可決

3月定例議会は、3月6日に招集され、19日までの14日間の会期で開催した。上程された議案は、平成21年度当初予算をはじめ、平成20年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算ならびに、子ども医療費の助成対象年齢を現行の9歳から15歳に引き上げる芦北町子ども医療費助成に関する条例の一部改正など41議案で、いずれも慎重審議の結果、全会一致で原案通り可決した。

また、議員発議による議会議員の定数を現行の22人から16人に改める芦北町議会議員定数条例の制定についても全会一致で可決した。

一般質問には、3議員が登壇し、執行部の考えをただした。

3月定例議会

教 育

教育指導費	1,840万円
語学指導費	1,623万円
小・中学校管理費	1億7,490万円
小・中学校教育振興費	3,149万円
幼稚園費	2,626万円
社会教育センター費	1,441万円
公民館費	2,770万円
図書館費	369万円
文化振興費	328万円
文化財費	4,077万円
生涯学習センター費	1,495万円
体育施設費	4,854万円
温泉プール運営費	2,889万円
学校給食施設費	7,361万円

建設・土木

農村環境改善センター改修工事費	3億 613万円
岩崎グラウンド整備費	1,683万円
道路維持費	6,402万円
道路新設改良費	1億6,220万円
橋りょう維持費	431万円
橋りょう新設改良費	3,401万円
河川改良費	1,380万円
水防対策費	2億8,184万円
砂防費	2,479万円
港湾管理費	847万円
住宅管理費	1億2,835万円



農林水産業

農業振興費	3,629万円
畜産業費	678万円
農道施設事業費	3,721万円
かんがい排水改良事業費	655万円
農業施設管理費	642万円
中山間地域等直接支払事業費	4,382万円
地積調査費	1億4,920万円
中山間地域総合整備事業費	1,721万円
芦北地区排水対策事業費	1,000万円
林業振興費	6,098万円
林道費	1,535万円
治山事業費	1,060万円
水産業振興費	1,625万円
漁港建設費	2億8,923万円



商工観光

商工業振興費	1,718万円
観光費	7,052万円
芦北海浜総合公園管理運営費	6,577万円
御立岬公園費	877万円
物産館管理費	1,481万円



生活・福祉

障害者福祉費	4億 60万円
社会福祉施設費	1億3,301万円
高齢者福祉費	3億5,460万円
後期高齢者医療費	4億1,055万円
児童措置費	4億2,517万円
母子福祉費	286万円
保育所費	2億4,922万円
予防費	2,666万円
環境衛生費	3,654万円
健康増進事業費	4,897万円
生活排水対策費	2億3,701万円
塵芥処理費	1億9,290万円
し尿処理費	1億6,877万円



総務・消防

議会費	1億2,851万円
一般管理費	4億4,900万円
広報費	736万円
企画費	1億6,921万円
交通安全対策費	750万円
基幹支所費	5,670万円
ふるさと創生事業費	900万円
高速交通対策費	3,802万円
防犯対策費	515万円
賦課徴収費	1,840万円
戸籍住民基本台帳費	3,987万円
町議会議員選挙費	1,406万円
常備消防費	2億7,578万円
非常備消防費	6,664万円
消防施設費	2,321万円



『個性の光る活力あるまちづくり』 すべては21世紀を担う子どもたちのために

町長の施政方針(要約)

社会情勢と芦北町の 状況

米国のサブプライムローン問題に端を発した一〇〇年に一度とも言われている世界的な金融・経済危機は、経済のグローバル化の中で、わが国の経済にも大きな影響を与えております。政府においては、財政再建優先を念頭におきながら、当面は景気対策及び雇用対策に重点をおいた政策推進を実施することとしております。



平成21年度の地方財政計画は、地方税等の大幅な歳入減が見込まれる中で、歳入面

では地方交付税や臨時財政対策債の増額確保、歳出面では地域雇用創設推進費の創設等により、その規模を維持する内容となっております。本町においても、これまでの行政改革の取り組みを継続しながら、必要な事業については効率的・重点的に実施してまいります。

まちづくりの基本方針

芦北町のまちづくりは、芦北町総合計画において「個性の光る活力あるまちづくり」を基本理念とし、「すべては21世紀を担う子どもたちの



芦北幼稚園の園児たち

ために」をテーマとした施策を展開してまいります。

具体的な取り組み

◎「魅力的な地域づくり」では、「ふるさとづくり基金」の運用事業により人材育成を目指します。また、個性あるまちづくりを目的とした地区住民の主体的な活動を支援する「芦北町まちづくり支援事業」を引き続き実施します。



芦北町まちづくり支援事業（田川地区）

◎「人にやさしい快適なまちづくり」では、各種検診等を実施し、疾病の早期発見、早

期治療に努めます。また、健康づくりセミナーや健康教室等を開催し、町民の健康に対する関心を高めてまいります。更に子育て支援のために医療費の無料化を小学校3年生から中学校3年生までに拡充するとともに防犯・防災対策についても防犯パトロール隊や自主防災組織を充実させ、住民の安全・安心に努めます。また、生活排水対策として合併浄化槽の推進を柱に、積極的な取り組みを行います。



◎「生きがいのある働き場づくり」では、「未来につなげる芦北町農林漁業振興基金条例」を基に、特産物のブランド化や地産地消対策の施策を実施し、各種協議会を機軸として、その生産活動を支援します。

林業では、「芦北町木造住宅建築支援事業」を拡充するとともに間伐事業を進め、水産業の振興については内水面を含め、水産資源の増殖や海

浦漁港の整備等にも取り組めます。企業誘致では、積極的に関係機関との連携を図りながら誘致に努め、南九州西回り自動車道芦北インターの開業に伴い新たな観光ルートの検討を行い、振興を図ります。◎「豊かな心の人づくり」では、芦北町教育理念「温故創新」の下、児童生徒の学習意欲を高め、着実なステップ



星野高知美術館入館者3万人目記念式

アップを図るため、生徒の英語検定料を引き続き助成してまいります。また、学校教育環境の改善に向けては、耐震計画を先行して、順次耐震化工事を実施します。星野富弘美術館では、常設展及び公募展のほか特別に原画展を開催し来館者に感動と勇気を与える施設を目指します。スポーツの振興ではJKAトレジャークラブや町体育協会等を積極的に支援し、現在整備

中の岩崎グラウンドについては、全面芝施設として年度内完成の予定です。文化活動の推進については、佐敷城が国史跡指定を受けて、更なる保存と活用を図るため、「佐敷城跡保存活用検討委員会」を発足させます。その他、田浦地区において多目的な交流施設として、農村環境改善センター改修工事に着手し、整備を図ります。



盛大に開催された開通式

◎「生活を支える基盤づくり」では、待望久しかった芦北インターが21年度開業することから、連結する道路網の整備を促進し、町の活性化、生活環境の向上等を図ります。地籍調査事業は、全体事業の早期完了に向け継続して事業の推進を図り、環境をテーマ

にしたまちづくり計画となる「芦北町環境基本計画」は、平成21年度中の作成を目指します。

◎「効率的な行政組織づくり」では、行政改革大綱（集中改革プラン）に基づき、平成20年度に実施した検討案を基に町民の利便性等を考慮



田浦基幹所へ移転した地籍調査室

◎結び
今後も厳しい財政状況が予想される中で、いかに質の高いサービスを町民に提供できるかを主眼に置き、国政の動向や本町の将来を見据え、町民ニーズを的確に捉え、町民議会とのコミュニケーションを大切に行政運営を行います。

平成20年度 補正予算（一般会計）

7億5,692万円を追加

補正予算の概要

補正の主な内容は、国の二次補正による地域活性化生活対策臨時交付金及び定額給付金、子育て応援特別手当等の増額と、国県支出金等を伴う各種事業の実績見込みによる減額となっている。

地域活性化生活対策臨時交付予定額の2億8,466万円については、防災対策の推進、農林水産業活性化、安全・安心な教育環境の整備など、本町の政策課題として取り組むべき事業に対して重点的に措置される。

会計名	補正額（増減）	会計総額
一般会計	7億5,693万円増	109億4,629万円
国民健康保険	1億3,369万円増	32億3,794万円
老人保険	6,178万円減	3億7,293万円
介護保険	1,304万円増	18億6,500万円
生活排水処理	1,315万円減	7,385万円
後期高齢者医療	211万円増	2億6,371万円

●補正の主なもの（一般会計）

・定額給付金	3億2,985万円
・地方バス路線維持対策費補助金	360万円
・子育て応援特別手当	846万円
・道路新設改良費	1億123万円
・岩崎グラウンド整備費	6,674万円



造成整備された岩崎グラウンド



拡幅改良される下り口線

陳情2件を採択、請願1件を不採択

件名	陳情者	結果
向町地域水害対策事業について	向町区長 坂井美善氏 ほか 23名	採 択
県産木材の需要拡大についての要望書	県産材需要拡大県民運動推進会議会長 蒲島郁夫氏 水俣市北地域木材需要拡大協議会会長 小崎修市氏	採 択
田浦字旧牧共有林を町保安林として買い取ることに係る請願について	田中一幸氏 田浦4区長 村中正和氏 ほか 5名	不 採 択

平成21年第1回臨時議会

教育委員3氏に同意

平成21年第1回臨時議会は、2月9日に招集され、1日間の会期で開催した。上程された議案は、定額給付金給付事業に係る1,500万円の事務費を追加する平成20年度一般会計補正予算1件についてで、審議の結果、全会一致で可決した。

また、教育委員会委員の任命につき同意を求める同意3件について議決し、選挙管理委員会委員及び補充員についても選出を行った。



藤崎 由美氏（50歳）

小学校、中学校のPTA役員として学校運営にも積極的に参加・協力され、教育についても高い職見をもち、温厚で誠実な人柄。



楠原 眞幸氏（61歳）

昭和50年に教員採用以来、平成20年3月までの33年間の長きにわたり学校教育の指導者として活躍され、佐敷小学校長を最後に退職。



本山 嵩氏（61歳）

昭和45年に教員採用以来、平成20年3月までの38年間の長きにわたり学校教育の指導者として活躍され、湯浦中学校長を最後に退職。



吉尾 一秋氏
（吉尾地区）

うたせ第16号（前号）で、人権擁護委員に推薦されました吉尾一秋氏のお名前を間違えて掲載いたしました。お詫びを申し上げます。訂正させていただきます。

お詫びと訂正



梅田 安子氏



坂本 義博氏



中川 譲司氏



吉野 嘉子氏

選挙管理委員会委員 4氏を選出

予算額96億3千万円(一般会計) 前年対比1・9%の増

総務常任委員長報告



カンボジアの子と通訳から歓迎を受ける戸北の子と通訳(香園3校目)

総務常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について報告を申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、予算関係1議案、条例関係3議案でございます。

まず、条例の審査から申し上げます。

議案第21号「戸北町報酬及び費用弁償等条例を廃止する条例の制定について」、議案第22号「戸北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の制定について」及び議案第23号「戸北町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について」は、関連した議案でありましたので、一括して説明を求めました。

これまで、「戸北町報酬及び費用弁償等条例」で1本化されていた条例を、議案第21号で廃止し、議案第22号で議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び議案第23号において、特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例を、新たに制定するものであります。

議案第21号につきましては、説明後質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

同じく議案第22号につきましても、説明後は質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

議案第23号の主な質疑として、古尾診療所の医師の報酬について、謝金で支払われているが、報酬で支払うべきではないのかとの質疑に対し、現在は臨時医師として契約しており、報酬に見立てた運用を行っているとの答弁であり

ました。質疑終了後は討論もなく、議案第23号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第10号「平成21年度戸北町一般会計予算」について申し上げます。

平成21年度一般会計予算総額は、94億4,600万円で、前年度比0・7%の減となるものの、「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用した事業の前倒し分を加えると1億8,551万円、1・9%の増となっております。また、普通交付税については、地方財政計画の中で、1兆円増額されたことにより、2・4%増の42億円が見込まれております。

以下、審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

【議会事務局】

まず、議会事務局では、經常的経費のほか、地方分権時

代に対応した議会運営に資するため、全議員での研修費等が計上されております。

【総務課】

総務課では、人事評価制度の効率的な運用を図るため、引き続き評価者及び職員研修を実施するとともに、職員研修事業として専門的分野の研修を行う中央研修と、新たに熊本市で実施されている市町村研修が計画されております。また、災害対策本部の支持発信機関である役場本庁において、有事の際の停電に備えた非常用発電機の設置が不可欠であり、OA機器等に安定した電気供給を行うためのコンデンサの設置のための経費が計上されております。

主な質疑として、里道・水路の払い下げについて、固定資産税評価額の1・3倍で払い下げを行っていることに対し、住民が求めやすいよ



職員研修

【企画財政課】

企画財政課では、国際化に対応する人材の育成を目的と



代替が検討される路線バス

軽自動車通報事務費負担金とあるが、どのような趣旨のものかとの質疑に対し、

う見直してはどうかとの意見が以前からあるが、どのような協議が行われているのかとの質疑に対し、これまで払い下げをしてきた方々への整合性もあり、一気に価格を落とすことは難しいが、当面は固定資産税評価額で払い下げることに改めたとの答弁でありました。

した、カンボジア学校贈呈式の開催・海外自治体職員を研修生として招聘する自治体職員協力交流事業や、「ふるさとづくり基金運用事業」の推進等に要する経費が計上されております。

主な質疑として、町内のバス路線運行について、利用者の減少等により、代替手段を考える時期にきているということであるが、具体的な案はあるのかとの質疑に対し、大幅な赤字路線については、利用者の理解を前提にダイヤの見直し、予約によるタクシー等の代替を検討しているとの答弁でありました。

【田浦基幹支所】

田浦基幹支所では、防火対象物点検委託料が、新たに発生するのはどういう理由かとの質疑に対し、消防署の立入検査で、暖房用の重油の燃料タンクが15年以上経過しており、毎年点検しなければならぬ旨の指示があったため、20年度は予算減額で対応し、21年度新たに予算を計上したものであるとの答弁でありました。

【税務収納課】

税務収納課では、平成21年度町税の総収入額は15億5,445万5千円で、前年度対比2,520万8千円の減が見込まれております。

軽車両の廃車や名義変更等があった場合は、業者を通じて車検証の異動を行い、熊本県軽自動車協会へ手続きがなされている。その後、軽自動車協会が戸北町に該当する車両を、処理するための事務経費に係る負担金であるとの答弁でありました。

以上が論議されました主な内容であります。議案第10号につきましては、質疑終了後討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

以上で、総務常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。

芦北町新規就農者支援事業 始まる

建設経済常任委員長報告

建設経済常任委員会に付託されました案件のうち、予算関係6議案、条例関係2議案、陳情1件について、本委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

まず、議案第31号「芦北町一般廃棄物処理条例の一部を改正する条例の制定について」を申し上げます。

これは、住民の資源物の集団回収の取り組みを支援するため条例を整理することや町が指定するゴミ袋の種類を簡素化し、併せて料金を改定することなどが主な改正の内容です。委員からは、料金の改正は石油製品の高騰などの背景を考えると、止むを得ない措置であり容認できるとの発言がありました。

以上、質疑終了後は討論もせず、議案第31号「芦北町一般廃棄物処理条例の一部を改正する条例の制定について」を申し上げます。

次に、議案第32号「芦北町浄化槽市町村整備推進事業条例の一部を改正する条例の制定について」を申し上げます。

これは、集中改革プランに示された課題の一つであり、個人設置型浄化槽の維持管理費や農業集落排水施設の使用料と比較して優遇されているため、町民の不公平感をなくすことを目的に使用料の改正を行うものです。

委員からの今回の改正は、個人設置型と市町村設置型を標準化するためなのかという質疑に対し、標準化及び維持管理にかかる費用に応分の負担をお願いするものですとの答弁でありました。

【地籍調査課】

まず地籍調査課では、平成21年度は、白石・熊瀬地区で地籍図等を作成し、立川・吉尾地区は地籍細部測量等を、大岩地区では一筆地調査を行い、黒岩・上原地区では調査準備をするとの説明がありました。

【環境衛生課】

環境衛生課では、委員から黒崎霊苑について、残っている区画の使用募集を積極的

に行うよう要望がありました。

【商工観光課】

商工観光課では、旧ブルーマリンあしきたの耐震調査や進出企業の現在の状況はどうかとの質疑に対し、平成20年度に調査を実施し、現在審査の結果を待っているところであり、審査結果後に関係事業者と協議を行うとの答弁でありました。

【建設課】

建設課では、町発注の工事に関し設計単価はどのように決定しているのかという質疑に対し、熊本県の統一単価を使用し設計を行っているとの答弁でありました。また、単県道路改良事業負担金等の内訳はどうなっているのかとの質疑に対し、3事業11箇所合計1千325万円を計上しているとの答弁でありました。

【農業委員会】

農業委員会では、特定農地の使用等に関する現状はどうなっているのかとの質疑に対し、田浦町地区に1区画20㎡を11人に貸し出しを行っており、今後芦北地区にも提供できる土地を探し積極的に取り組むとの答弁でありました。

【水道課】

水道課では、西告地区の生活飲用水の安定供給を図るため、水道施設整備に要する経費の2分の1以内の補助金4百767千円を計上しており

ます。

【農林水産課】

農林水産課では、芦北町新規就農者支援事業補助金の事業概要はとの質疑に対し、芦北町に在住し農業大学へ入学予定または在学者並びに農業関係施設で研修をされる方などに、その経費にかかる支援を行い担い手不足解消に力を入れるとの答弁でありました。

【農業集落排水事業特別会計】

次に、議案第15号「平成21年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」について

以上、説明後は質疑討論もなく、議案第15号について

次に、議案第16号「平成21年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」について申

【生活排水処理事業特別会計】

次に、議案第17号「平成21年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申

次に、議案第18号「平成21年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申

もって中止するとの説明がありました。

次に、議案第19号「平成21年度芦北町有温泉事業特別会計予算」について申

【町有温泉事業特別会計】

次に、議案第20号「平成21年度芦北町水道事業会計予算」について、主な事業として、花岡浄水場電気設備更新事業を行うとの説明があ

【水道事業会計】

次に、議案第21号「平成21年度芦北町水道事業会計予算」について、主な事業として、花岡浄水場電気設備更新事業を行うとの説明があ



大野温泉センター

最後に、陳情第2号「『協同労働の協同組合法（仮称）』の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書」について申し上げます。

これは、労働者自らが出資者・経営者・労働者になるという「新しい働き方」であり、本件は、社会の実情を踏まえ、課題解決の有力な制度として、意見書提出は妥当であると判断し、陳情第2号につきま



インター開通に伴い改良された花岡外ヶ平線

介護保険料を改定

基準月額「4320円」から「4150円」へ

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

本委員会に付託されました案件は、予算関係6議案、条例関係1議案でございます。

まず、議案第29号、「芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」について申し上げます。

今回の改正は、今年度策定されました第4期芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画書に基づき、介護保険料を改正するものです。

改正内容は、第2条中「平成18年度から平成20年度」を「平成21年度から平成23年度」に改め、別表（第2条関係）の保険料の改正について、詳しく説明がありました。主な質疑は、今度、この激減緩和者の高くなった方々か

らの問い合わせに対し、納得されるような説明の方法についてはとの質疑に対し、運営委員会に諮り、この介護保険料の決定についての原案を作成し、今月の終わりに、町の広報紙でのお知らせや、民生児童委員会に話をして充分に対処したいとの答弁でありました。

質疑後は、討論もなく、議案第29号については、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第10号、平成21年度芦北町一般会計予算について、審査過程において論議された主なものについて申し上げます。

【福祉課】

まず、福祉課では、現在、老人ホームの運営において、今後の見通しとして民間委託



民間委託が検討される芦北町老人ホーム

等の考えはないかとの質疑に対し、芦北町の行革の中の一つの方針として、老人保健福祉介護保険事業運営調整委員会での検討をして頂いており、今後はその結果を踏まえ、進めて行きたいとの答弁でありました。

【生涯学習課】

生涯学習課では、佐敷城跡が国指定となったということと、学識経験者による検討委員会を充足させるということだが、選定については、町全体から選ぶのか、それとも旧佐敷地区の佐敷城に関係がある方か、また、何名くらいかとの質疑に対し、文部科学省から、佐敷城跡の保存活用について、地元で充分に議論してほしいとの要望を受け、今回、予算措置をした、学識経験者として、主に大学教授の方々と、開発整備の段階から携わって頂いた経緯の中から5名の方をお願いしたいとの答弁でありました。

【老人保健事業特別会計】

次に、議案第12号「平成21年度芦北町老人保健事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、700万円で月遅れの給付分となっており、老人保健制度が廃止され2年目となりますので98%の大幅な減額予算となりました。

なお、歳入につきましては、国庫負担等が22年度に精算交付となることから、ほとんどが一般会計からの繰入金となります。

【国民健康保険事業特別会計】

次に、議案第11号「平成21年度芦北町国民健康保険



吉屋診療所

事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑は、直営診療施設勘定において、臨時医師の謝金は条例との整合性はどうなるのかとの質疑に対し、緊急的ということで、報償費扱いにして4年になる。当然、整合性を取っていくことになるが、今回、先生が勇退されることになりましたので、一応、6月ごろまでは報償費とし、新しい先生からは条例との整合性を取って行きたいとの答弁でありました。

以上、議案第11号については、質疑終了後は討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【教育課】

教育課では、英語検定試験の補助を中学1年生から3年生まで全員にしているが、数学とか国語の基本となる漢字の検定について、意欲があつて勉強して受けたいとの申請があれば、数学や漢字検定にも補助するという方向性は



持っていないのかとの質疑に対し、英検そのものが目的ではなく、学習意欲の向上という目的を持っている。数学、漢字検定についても、学校現場とヒアリングをしながら、取り組みについての考えは進めているが、実現していないとの答弁でありました。

【介護保険事業特別会計予算】

次に、議案第13号「平成21年度芦北町介護保険事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、18億70万円で、20年度より2・0%の伸びとなります。

この中には、介護従事者の処遇改善に係る報酬の3%アップが見込んであります。以上、議案第13号については、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

【奨学資金貸付事業特別会計】

次に、議案第18号「平成21年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」について申し上げます。

予算総額は、2千480万円となり、貸付の人数は、高校が継続3名、新規5名、大学が継続17名、新規20名、入学準備金の貸し付けが20名となっております。

以上、議案第18号については、質疑及び討論もなく、全会一致で原案のとおり可決

することに決しました。

【後期高齢者医療事業特別会計】

次に、議案第19号「平成21年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」について申し上げます。

主な質疑は、特別徴収対象者の対策で、4月からスタートするが、現時点で、その対象者の徴収方法というのは把握されているのかとの質疑に対し、広報での周知、また、個別でダイレクトメールにより個人にその旨、通知しますとの答弁でありました。

以上、議案第19号については、質疑終了後討論もなく、全会一致で原案のとおり可決することに決しました。

以上、文教厚生常任委員会に付託されました事件の審査経過と結果の報告を終わります。

一般質問

子ども医療費補助の 具体的内容は



草野安道議員

質

子ども医療費補助の対象年齢を9才から15才まで引き上げることになっているが、具体的に内容を明確にされたい。

答 町長

本事業は芦北町次世代育成支援行動計画に基づいて、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、安心して子育てが出来る環境を確保するため、子ども医療費の助成対象年齢を現行の9才から15才に引き上げ、充実を図るものである。

行政改革対策について

職員数の削減を今後4年間で22人削減すると公約されているが、事務的及び勤務体制に無理はないのか。

答 町長

職員数の削減については、これまで平成17年4月から平成20年4月までの3ヶ年間に16人削減している。この削減数は集中改革プラ

ンより先行して6人多くなっている。また、これから4年間で22人の削減を行うこととされているがこれについては、集中改革プランに沿った組織の見直しと合わせ、職員の資質向上を高める中で、勤務体制に無理が生じないよう、また、事務効率低下しないように十分配慮しながら進めていく。

農林業の振興について

農業の中で果樹振興策についてどのような対策をとってこられたか。また、今後どのような振興策を考えておられるのか。

答 町長

果樹振興策については、平成15年に制定した未来につなげる芦北町農林漁業振興基本条例に基づき振興を図ってきた。今後の振興策については、安全・安心の農産物の栽培を果・JAその他関係機関と協力し、振興を図っていききたい。



林業振興に対してどのような対策や今後どのような振興策を考えておられるか。



町が奨励している「太秋柿」

答 町長

本町の森林面積は1万8,380㌥で町総面積の78・6%を占めている。林業としては、国内生産材の木材単価が安く、木を出す赤字になるとまでいわれ、林業経営を圧迫している。本町では、平成19年度から木造住宅建築事業を創設するなど、まずは木材を動かそうという取り組みをはじめ、木材を流れに乗せる事業を展開し、徐々に実績を上げつつある。今後も木材にこだわり、木の暖かみに包まれ、木とふれあう生活による林業振興を図っていききたいと考えている。

答 農林水産課長

間伐促進事業や森林整備活動の支援事業、林道・作業道の開設、改良の補助事業等を展開している。今後も林道・作業道の開設、改良を行い、木材の搬出の経費を最小限度に抑えた支援策を展開していきたいと考えている。

一般質問

建設業における 地産地消について



前島龍二議員

質

農林水産業では、地元でできる材料や食材を見直して積極的に利用するという地産地消の動きがある。これは、建設業についても同じことが考えられると思う。工事発注における建設業の地元活用について、町長の基本的な考えを伺いたい。

答 町長

建設工事発注については、建設業法を基本に、町内企業を育成する観点から、指名審査会に諮りながら、町内企業を最優先に発注するように心がけ、職員にも指導している。

答 総務課長

建設工事を発注すると、材料等の調達などが発生するが、これについても町内で調達できるものは町内でしていただくよう、関係団体に指導している。

答 農林水産課長

農林土木関係の工事を発注しているが、総務課長の答弁

通り、町内の業者の方をお願いしている。

しかし、県発注の部分については、負担金を出しているが県が所轄となるので、その分については、御理解して頂きたい。

答 建設課長

地元優先で発注している。あと請負業者の部分は、請負者としてのモラルで頑張ってもらいたい。

答 企画財政課長

課としては、直接事業に対して関わっていないが、財政担当として、建設業が芦北町の経済の支えもしているわけで、限られた財源の中で投資的経費にも、工面するよう努力したい。

答 地籍調査課長

課として、発注しているが地元業者には、該当する業者がないため、入札で決定した業者に対して、測量補助員を地元からお願している。

答 教育次長

工事等の発注は、管轄外であるが、物品購入等については地元業者を積極的に後援している。



次回選挙より

22人→16人へ

議員定数条例 全会一致で可決

議会最終日に、議員定数と
して、「芦北町議会議員定数
条例の制定について」を上程
し、議員定数を現行22人から
6人削減し16人とする条例案
を全会一致で可決しました。
条例案は、昨年12月と今会
期中の計2回、全員協議会で
論議されてきました。

全員協議会では、「18」「16」
「14」という3つの意見が出
ましたが、同規模自治体との
比較で「16」が大勢を占めた
ところです。

地方自治体では、芦北町の
議員定数の上限を26人と定め
られています。下限の定め
はありません。

合併前の定数は、旧芦北町
が18人、旧田浦町が12人で、
平成17年1月の合併後、「市町
村の合併の特例に関する法
律（合併特例法）」により平
成18年3月までの1年3ヶ月
は30人で推移しました。その
後、「葦北郡田浦町及び葦北
郡芦北町の廃置分合に伴う町

議会の議員
の定数に関
する協議書
により、平
成18年4月
の改選で22
人とし、現
在に至って
います。

今回、来
年3月末の
任期満了を
迎えるにあ
たり、6人
減という大
幅な定数削
減を行います。

この6人減という数は
熊本市内を見回しても議員定
数を削減しようとしている自
治体では最も多い削減数です。

本町では、人口が少子高齢
化の影響で減少の一途を辿っ
ていますが、面積は熊本市内
町村の中で3番目の広さであ
り、町民の声や意見を吸収す

るには地域性も考慮し大幅な
削減は難しいかと思われまし
たが、我々議会としても今後
の町の財政状況等を鑑みると、
少しでも歳出削減に寄与すべ
きとの判断から定数の削減に
踏み切ったものです。

この町議会議員の定数削減
は、町民の皆様にも納得して
いただけると確信しております。

改正後の定数による選挙は、
平成22年3月に執行予定の町
議会議員選挙から適用される
こととなります。



一般質問

政府の景気経済対策交付金、 本町どう活用する



川尻成美議員

政府が交付する定額給付金
が本町では3億3千万円余り
が支給される。景気後退下で
不安に対処するため、住民へ
の生活支援を行うとともに、
あわせて住民に広く給付する
ことにより、地域の経済対策
になるための目的である。本
町の景気対策に着実に活用さ
れるような方策を講ずる考え
はないのか。

答 町長

政府において様々な議論が
行われた結果、自治体では使
い方を決めることが出来ない
仕組みになっており、いち早
く正確に届けるよう現在準備
中である。

質

他市町村の例で見られる割
増金付き買物券等の発行に取
り組む考えはないか

答 町長

商工会とはすでに協議を行
ったが、その結果、毎年町内
のみで使えるプレミアム商品
券を発行しており、定額給付
金に合わせた事業については
取り組まないということであ
った。

質

「地域活性化生活対策臨時交
付金」と「緊急雇用創出基金・
ふるさと雇用再生特別基金」
等政府の交付するこれらの事
業に対して本町として、具体
策、対応策をどうするのか。

答 町長

「地域活性化生活対策臨時
交付金」は防災対策の強化、
農林水産業の活性化、安全・
安心な教育環境の整備など、
本町の地域活性化に資する事
業を予算計上し、先日、補正
予算で議決済みである。

「緊急雇用創出基金・ふるさと
雇用再生特別基金」は離職
による失業者のための新たな

事業が対象で、調査の結果、
本町では24人の離職者があり、
現在失業保険で対応している。
また、「緊急雇用創出基金」
については県に事業計画書を
提出しており、採択されない
場合も町単独で実施する予定
である。「ふるさと雇用再生
特別基金」については3年間
の実施期間があるので、今後
検討したい。

合併2期目の政策を問う

質

「合併2期目の町長として
やり残した仕事があり今期総
仕上げをする」と公約。やり
残した仕事の主なものとそれ
らの総仕上げの具体策を明ら
かにされたい。

答 町長

総合計画は前期、
後期からなっており、前期202事
業のうち達成率92
・6%、後期につ
いてはローカルマ
ニフェストとの整
合を図りながら、
国、県の施策、社
会情勢、町民のニ
ーズを考慮し総合
的かつ計画的な行
政運営を行うこと
が私の責務である。

定額給付金窓口



定額給付金の申請

議会のうごき

- 1月 5日 賀詞交換会
 11日 熊日三太郎駅伝競走大会
 11日 芦北町成人式
 26日 県町村議会議長会理事会
- 2月 5日 芦北町地域資源活用総合交流促進施設落成式
 6日 総務常任委員会
 18日 芦北町教育研究大会
 19日 県町村議会議長会定期総会
 22日 芦北うたせ杯ジュニア空手道大会
 第10回記念国際親善大会
 27日 議会運営委員会
- 3月 6日 議会定例会（開会）
 9日 全員協議会
 9日 議会定例会（一般質問）
 10日 各常任委員会（～13日）
 12日 湯浦中学校屋内運動場落成式
 15日 芦北町消防点検
 19日 議会定例会（閉会）
 19日 議会広報特別委員会
 22日 芦北うたせマラソン大会
 24日 水俣芦北広域行政事務組合議会
 30日 水俣芦北地域振興財団理事会



▲ 4/19 オープン ファーマーズマーケット でこぼん



▲ 雨わう でこぼん店内

議会広報特別委員会

委員長	委員長	委員長	委員長	委員長	委員長
元山 秀志	前田 徹一	宮尾 秀行	白坂 康浩	宮島 逸男	古村 道則

南九州西回り自動車道の芦北ICが開通し、4月29日に盛大に開通式が挙行されました。この開通により芦北町の基幹産業並びに観光産業が飛躍的に発展するものと期待されています。また、芦北IC開通と併せ、「JAあしきた」が計画した、「ファーマーズマーケット」「でこぼん」と「ぎゅー亭」が完成しました。これは、芦北町の農業・林業・水産のブランド化を目指した取り組みとして、大変注目をされています。今後この事業が益々発展し、成功するよう願うものであります。

（宮内）



編集後記